

授業科目(ナンバリング)	生活支援技術 I B (DD204)			担当教員	久田 貴幸・熊井 まどか・林 俊介・吉村亮二		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本演習においては、 <u>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための基礎知識を身につけることを目的とする。</u> また、その人らしく生きていくための生活環境づくりや生活の楽しさや生活の支障の解決についてについて学び、居住環境整備の工夫と介護の技法を習得する。							④⑤⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	豊かな生活を送るために、主体性を持って生活するための居住環境整及び栄養、口腔機能の理解を前提とした介護予防について説明することができる。				定期試験 課題レポート	50% 10%	
情報収集、分析力	環境整備・介護予防を必要とする利用者が抱える課題など情報を収集し分析を行い、課題解決をするための思考や判断ができる。				授業態度・授業への参加度	10%	
コミュニケーション力	他の人の意見を傾聴するとともに、移動に係る課題について自分の意見を明確にした上で、相互理解を図る議論に参加できる。				授業態度・授業への参加度	15%	
協働・課題解決力	利用者が豊かな生活を送るための思考や行動が言語化できる。				グループワーク	15%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を 50%とし筆記試験（持ち込み不可）を行う。 ・課題レポート（10%）については、授業内での代表的なテーマをレポート化し、提出後フィードバックにて学生と共有する。 ・授業態度・授業への参加度(25%)は、授業における態度や参加の度合いに応じて評価する。 ・グループワーク（15%）は自分の意見をまとめ、グループ内で表出できているかの評価を行う。 <p>なお、発表内容に関してはコメントの形でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
自立に向けた居住環境の整備について学び、安全で心地よい生活の場づくりを支援するための技術について学ぶ。授業の展開として、グループワークによる議論やプレゼンテーションを行うことで、自身の考えを他者に伝える能力を身に付けられる内容とする。また、本科目では、レスポ等 ICT を活用することで、双方向型の授業を展開することで理解度の確認を行う。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分である。							
教科書・参考書							
<p>教科書：東京商工会議所編『福祉住環境コーディネーター検定試験検定試験 3 級公式テキスト』富士美術印刷</p> <p>参考図書：最新 介護福祉士養成講座 『生活支援技術 I』 中央法規出版</p> <p>指定図書：東京商工会議所編『福祉住環境コーディネーター検定試験検定試験 3 級公式テキスト』富士美術印刷</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
本科目においては、介護を要する人々が豊かな生活を送るために必要となる環境整備について学習を行う。また、介護予防の観点から、栄養、口腔機能、介護予防のための運動など、他職種が備える知識が必要となる。授業に関しては、図書館等を有効に活用して予習および復習を自主的に取り組むことを期待する。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	自立に向けた居住環境の整備 ①	居住環境整備の意義と目的について学ぶ(久田)	予習:居住環境について調べる 復習:要点をまとめる
2	自立に向けた居住環境の整備 ②	生活空間と介護について学ぶ(久田)	予習:自分自身の快適空間について考える 復習:要点をまとめる
3	自立に向けた居住環境の整備 ③	居住環境のアセスメントについて学ぶ(久田)	予習:快適空間の違いを理解する 復習:要点をまとめる
4	自立に向けた居住環境の整備 ④	安全で心地よい生活の場づくりについて学ぶ(久田)	予習:バリアフリーについて調べる 復習:要点をまとめる
5	自立に向けた居住環境の整備 ⑤	安全で心地よい生活の場づくりについて学ぶ(久田)	予習:ユニバーサルデザインについて調べる 復習:要点をまとめる
6	自立に向けた居住環境の整備 ⑥	施設における環境整備の工夫・留意点について学ぶ(久田)	予習:ユニットケアについて調べる 復習:要点をまとめる
7	自立に向けた居住環境の整備 ⑦	他の職種の役割と協働について学ぶ 後期授業まとめを行い、定期試験に備える(久田)	予習:今までの要点をまとめる 復習:要点をまとめる
8	自立に向けた居住環境の整備 ⑧	自立した生活を送るための心身の状況に基づいた環境アセスメントの具体的な支援について学ぶ。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予習:家屋チェックの方法について調べておく 復習:要点をまとめる
9	自立に向けた居住環境の整備 ⑨	利用者の生活環境を整えるための具体的な支援について学ぶ。 (ゲストスピーカー・実務家)	予習:福祉用具専門員の役割について調べる 復習:要点をまとめる
10	自立に向けた居住環境の整備 ⑩	自立した生活を送るために整えられた住環境を踏まえたサービスの調整について学ぶ。 (ゲストスピーカー・実務家)	予習:身体機能と生活環境の関連を調べる 復習:要点をまとめる
11	自立に向けた生活の支援①	介護予防において必要な、栄養に関する知識のうち、解剖・生理学について学ぶ。(熊井)	予習:人体の機能と構造について振り返っておく 復習:要点をまとめる
12	自立に向けた生活の支援②	介護予防において必要な、栄養に関する知識のうち、栄養素の働きと代謝について学ぶ。(吉村)	予習:栄養と代謝について調べておく 復習:要点をまとめる
13	自立に向けた生活の支援③	介護予防において必要な、栄養に関する知識のうち疾患(病態)と栄養について学ぶ。生活習慣病、高齢者の食事、フレイルについて知る。(林)	予習:高齢者に多い疾患について調べておく 復習:要点をまとめる
14	自立に向けた生活の支援①	介護予防において必要な、オーラルフレイルの早期発見に関する知識を学ぶ。 (ゲストスピーカー・実務家)	予習:口腔内の構造について調べる 復習:要点をまとめる
15	自立に向けた生活の支援①	介護予防において必要な、運動の実施とその支援について学ぶ。(久田)	予習:一般的な運動について調べておく 復習:要点をまとめる
16	定期試験		